

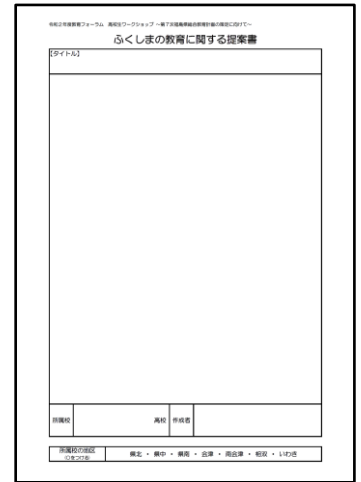
「ふくしまの教育に関する提案書」の主な提案内容

テーマ「福島県の未来の学びはどうあるべきか」 (提案書88点)

1 人材育成に関する提案

積極性・協調性の育成、アイデンティティの確立、
表現力・創造力・コミュニケーション能力・地域貢献力・
批判的思考力・達成感・自己肯定感の向上のために取り組むべきこと。

- 低学年からのプレゼンテーション
- グループ学習・グループディスカッション
- アクティブラーニング
- 生徒による行事運営（自己決定の場を増やす）
- 異学年との交流
- 職場体験・販売実習
- ボランティア活動
- 高校生による幼稚園、保育園、小・中学校への出前講座
- 児童生徒によるサポートティーチャー（高校生は中学校、中学生は小学校、小学生は幼稚園）
- 他校との交流、他学科の高校との交流
 - 共通選択科目の設定
 - 地域の課題解決に向けた共同研究
 - 特産品の開発・販売
 - 合同インターンシップ
- 地域との連携、地域理解と地元の人々との体験活動、校外学習の増加
- 福島の伝統産業を学ぶ・郷土愛を育む教育・食育の推進（地元の農畜産物の理解、給食での利用）
- 発展途上国への支援を実行する能力の育成
- ピア・サポートプログラムの導入（仲間を思いやり支える活動）
- 授業等（学校設定科目等）の選択科目の増加
 - 道徳教育（多様性の理解・自己の個性の理解）
 - 演劇教育（社会的スキルの向上）
 - 情操教育（舞台芸術鑑賞）
 - 授業「自己表現」を設定（表現力の向上）
 - 実生活に役立つ授業
 - 感染症、震災（災害）、少子化、納税、年金、生活力、介護、伝統工芸、日本文化等
 - 福島ならではの授業



【提案書の様式】

2 学力向上に関する提案

- 生徒・英語担当教員の英語力向上（グローバル社会と共に生きるために）
 - 幼少期から英語に触れるイベントの設定
 - 外国人とのオンライン交流
 - 英語検定料の補助
 - 英語教員の研修
- 幼い頃から学習を習慣化させ、苦手意識を持たせない（学習意欲の向上）

- 学習環境の整備
 - 自主学習場所の整備（校内・校外）
 - 中山間地域に公営塾の設置
- 自分のペースで勉強できる学校
- 全小学校・中学校・高等学校で、20～30人学級
 - 全教科習熟度授業
- 教員の加配（教員数の確保）
- 昼寝時間の設立（昼休み後10分間）

3 ICT活用に関する提案

- ICT機器の活用
 - リモート授業の曜日を設ける（自宅で授業を受ける）
 - 他校との遠隔合同授業
 - 全国の農業高校との交流・学び合い
- 環境整備
 - 一人一台端末
 - Wi-Fi環境の整備
 - 空き教室を活用したオンラインルーム
- 教員対象のICT講習会
- 福島県オリジナル教育アプリの製作と活用・通信衛星教育システム
- 過度にICT化を進めない

4 その他の提案

- 単位制高校を増やす（他校の授業を受け、単位認定）
- 震災及び原発事故の伝承
 - 県内全ての小学5年生対象の震災研修（東日本大震災・原子力災害伝承館、請戸小学校訪問）
 - 大学生・高校生が小学生対象に講座を開く
- 非常時の対応策・防災教育の充実
- 命・財産を守る教育
- LGBT推進教育（差別が無く、多様性を認め合えるふくしまへ）
- 性教育の充実
- 障がい者への理解・交流
- いじめの根絶
- 主権者教育の充実
- 継続的なAED講習会（小3～高3・教員対象）
- 資格や検定の取得
- GAP認証取得（農業高校）
- 福島県水産教育の継続と発展
- 学校紹介動画の製作